

建物火災を想定し消火訓練を実施



▲指示を出す波戸崎隊長

南あわじ市消防団第4方面隊は10月2日、住宅密集地での建物火災を想定した消火訓練を福良小学校で行い、団員約100人が参加しました。

訓練は、団員に訓練内容を事前に知らせないブライント型訓練。同小学校の校舎を複

数の建物と見立てて、中央棟2階から火災発生した想定で行われました。

火災は隣の建物へ延焼し、波戸崎直弘方面隊長による指示のもと、各消防団員が次々と出動。プール脇に小型動力ポンプを設置し、連結したホースにプールの水を送り、火点に向けて放水を行いました。また、夜間時にも想定し、照明器の設置も行いました。訓練を淡路広域消防事務組合南淡分署の職員が見分し、



▲校舎に向けて放水する消防団員

「ポンプの圧力調整ができていない」「本部との連携ができていない」などを指摘。波戸崎隊長は「今回の訓練の反省点を今後に生かしてほしい」と各団員に改善するよう訓示しました。

株式会社あべいすとが絵本を寄贈



▲絵本を寄贈された株式会社あべいすとと安部社長(左)から中田市長(右)へ目録が手渡されました

医療・介護事業者「株式会社あべいすと」(洲本市)が、淡路島の未来を担う子どもたちに心豊かな感性を育てるべく、市内の保育所等の子育て関係施設、24施設に絵本404冊を寄贈されました。

贈呈式が10月11日、施設を代表して市保育所で行われ、安部則行社長は中田市長に目録を贈呈し、中田市長から感謝状が手渡されました。同園の園児たちからも元気づけのお礼の言葉と歌が披露されました。



▲福良津波防災ステーション周辺で行われた「福良うずまるフェスタ」

福良うずまるフェスタ・津波防災フォーラム

日本一の津波防災のまちづく

りを目指す福良地区で、9月22日「福良うずまるフェスタ・津波防災フォーラム」が開催され



▲福良地区公民館で講演やダンボールヘッドの組立演習などが行われた津波防災フォーラム

ました。午前中に行われたフェスタでは、津波防災について街歩きをしながら学ぶ福良路地裏探訪や防災クイズ、水消火器の当てゲームなどで観光客や地元の人たちが楽しみながら防災について学びました。午後のフォーラムでは、人と防災未来センターの宇田川研究主幹による熊本地震などにおける避難所状況の講演やダンボールヘッドの組立演習、非常食の試食などが行われ、参加者による意見交換と発表が行われました。

吉備国際大学からのお知らせ

学園祭を開催します

今年開設4年目を迎えた吉備国際大学地域創成農学部で、初めての学園祭「くにおみ祭」を11月5日開催いたします。

駐車場は多数ありますので、車でこ来場いただけます。ぜひお越しください。

▽日時 11月5日(土)

午前10時～午後4時

▽場所 吉備国際大学南あわじ志知キャンパス

▽内容 ステージイベントでは、三原志知太鼓クラブ「志童」・学内軽音部・淡路三原高校吹奏楽部による演奏や、外国語学部のダンス、豪華景品が当たる〇×クイズ、フリースタイルフットボール「徳田耕太郎プロ」、6体のゆるキャラが登場します。

中庭では学生によるたくさん模範店、講義室・玄関前では地域の方々による出店、その他子どもも楽しめる緑日や大人もゆつくりできるカフェ等多数のイベントをご用意しております。

生涯学習講座のご案内

大学と地域の人々との連携推進を図るため、「吉備国際大学地域創成生涯学習講座」を開催しておりますので、興味のある方はぜひお申込みください。

①講座

なるほどなっとく法律入門

▽日時 11月17日(木)

午後1時30分～3時

▽内容 消費者トラブルの法律問題

▽講師 同大学地域創成農学部教授 生駒正文氏

※受講者には、法律がよくわかる「なるほどなっとく法律入門」の冊子を進呈

②講座 聞き上手になろう!

▽日時 12月5日(月)

午前10時40分～正午

▽内容 「聞いて・書く」と話が伝わる、悩みも解決!

▽講師 青木将幸ファシリテーター

▽事務所代表 青木将幸氏

①②共通

▽場所 同大学B棟104講義室

▽申込 同大学地域連携センター

ターメール kiu-aw@kiu.ac.jp ☎42・4700 42・4812

ふれあい市長室

日ごろの訓練が実を結ぶ!!

南あわじ市長 中田勝久

9月27日、これからの淡路地域のあり方を考える「淡路地域づくり懇話会」が開催されました。原口市議会議長と私が出席し、兵庫県との平成29年度予算への要望などについて井戸知事や県幹部職員の方々と懇談してまいりました。

私からは兵庫県が策定した津波防災インフラ整備計画で重点地区に指定された福良港の湾口防波堤や阿万港・沼島漁港の防潮堤等の早期完成、また低地対策として老朽

化した排水機場の更新や河川改修等の推進についてお話をさせて頂きました。市民の皆さんの安全安心のためにも、これからも事業の早期完成を県・国に要望してまいります。

9月22日、福良港周辺で南海トラフ地震に伴う津波への備えについて学ぶ「福良うずまるフェスタ」が開催されました。県内で最大の津波が予想される福良地区では、さまざまな想定で避難訓練等を実施していただいております。

参加者、関係者の皆さんに敬意を表するとともに、今後とも災害に備えた訓練を続けていただければと思います。

今年13日には南あわじ市総合防災訓練を実施します。今年度の訓練は、島内3市をメイン会場とする兵庫県の南海トラフ地震津波一斉避難訓練と合同で実施します。総合防災訓練の会場となる福良地区では避難所体験や炊き出し訓練等が行われるほか、各自治会

においても実情に応じた訓練を計画していますので、ぜひご参加ください。「自分の命は自分で守る。家族の命は家族で守る。地域の命は地域で守る」。個人や家族、そして地域で防災意識を高く持つていただき、もしもの場合に備えていただきますよう再度お願い申し上げます。

さて、地震や台風による災害に最もご尽力いただきますのが消防団の方々です。団員の方々は、仕事を持ちながら市民の生命と財産を守るために、日頃より活動・訓練を重ねていただいております。10月14日に南長野運動公園で開催された第25回全国消防操法大会ポンプ車の部では、神代第一分団が見事優勝に輝かれました。夜間や休日に訓練を重ねてこられた賜物だと思います。選手の皆さん、ご家族、また団員・幹部の皆さんに心より感謝とお喜びを申し上げます。

秋から冬へと季節が移り変わってまいります。市民の皆さんには体調管理にご留意いただきますとともに、より一層、市の施策へのご理解・ご協力をお願い致します。

交通死亡事故ゼロ 300日達成



▲市内の事故を無くすため啓発活動を行う南あわじ市交通対策協議会メンバー

南あわじ市は、平成27年11月11日から平成28年9月5日までの300日間、交通死亡事

故を抑制したことにより、交通安全功労表彰を受けました。当市では、市・警察・交通安全協会・家用自動車協会・自治会・老人クラブ・連合PTA・小中学校長会で構成する「南あわじ市交通対策協議会」が中心となり、市内の交通安全啓発活動に取り組んでいます。受賞を受け、橋本真佐男南あわじ警察署長は「これからも関係機関協力をして、地道な活動を続けていきたい」と話していました。